

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	13-13	
PDCA	主要事業名	中心市街地活性化支援事業	部課名	市民経済部 産業課	担当	赤坂	
					内線	321	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 4 単位施策： 商工業 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 3,750 千円 会計 一般会計 歳出科目：06.01.02.07.56 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 4,000 千円						
	事業概要等	事業概要： 半田商工会議所が中心となって中心市街地の関係者と連携を図りながら、商業者による販売促進イベントや地域住民参加型のイベントなどのソフト事業を開催することで市内外からの集客を図るとともに中心市街地への新規来訪者とリピーターの増加を図る。 事業目的： 中心市街地を社会的、経済的及び文化的活動の拠点とし、魅力ある市街地とする。 事業内容： 中心市街地商業活性化にぎわい事業補助金及び中心市街地まちづくり支援事業補助金を交付する。 問題点・課題等： 土地区画整理事業により公的サービスなどの都市機能の集積や道路整備が進んだものの、街に活気はなく商業施設の集積は進まない状況にある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	3,750 千円	中心市街地は本市の「顔」であり、市民や来訪者に親しまれ、魅力ある市街地にする必要があるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 875 千円	地域関係者と四季折々に各種事業を展開することで、まちづくり機能の強化を図るとともに市内外からの集客と中心市街地活性化に寄与する。					
	国費 875 千円	目標値や目指すべき状態					
	県費 1,000 千円		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	
	その他 1,000 千円	名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口（10時～17時の平均値）【平日】	実績値	—	—	6,821.0 人/日	
			目標値	—	—	8,400.0 人/日	
	名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口（10時～17時の平均値）【休日】	実績値	—	—	9,965.0 人/日		
		目標値	—	—	8,800.0 人/日		
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	3,658 千円	商店街、クラシティ、商業高校生との連携は今後の活性化に大きな期待を待てるつながりとなった。また、11月の公共空間活用実験、2月のキッチンカー設置実験では、人流増への影響を与え、事業者の売上向上につながる効果を把握できた。					
		成果指標			令和3年度	単位	
		名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口（10時～17時の平均値）【平日】	実績値	6,821.0	人/日		
			目標値	8,400.0	人/日		
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 商工会議所まちづくり推進室と連携し、チャレンジショップ事業の実施や、商店街等が実施する地域賑わいイベントの後方支援、知多半田駅ロータリーなどの公共空間を活用した新たな賑わい創出の取組を行った。また、半田市地域振興券を活用した売上促進の企画として実施した「半田まちなか地域振興券フェア」では、4,599人の応募があり、中心市街地での地域振興券利用促進に繋がった。成果指標の通行量調査を令和3年度からは通信データを活用した流動人口データでの観測に見直したが、人流減少はコロナ禍の影響を受け続けている。					
A 今後の課題の方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 JR半田駅の高架事業を強く意識し、引き続き知多半田駅から半田駅間の区域を中心に活気づけていく仕掛けを、ハード及びソフトの両側面から、官民連携で推進していく必要がある。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用